



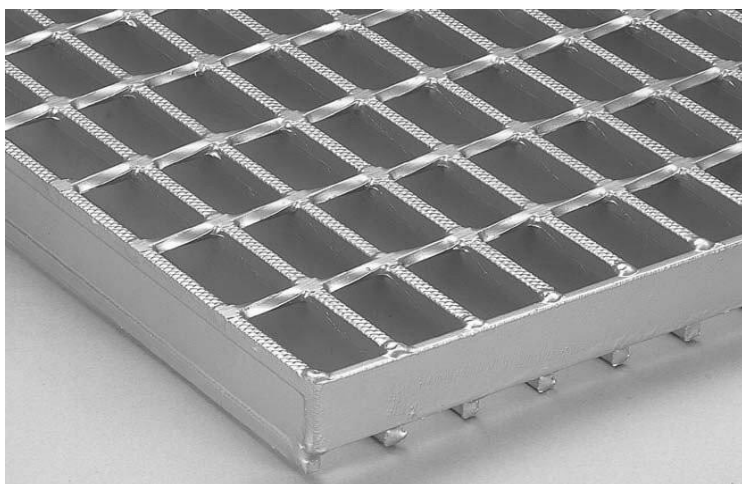
✓ Third party verified  
Environmental Product Declaration

In conformance with  
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044



株式会社ダイクレ  
DAIKURE CO.,LTD.

## スチールグレーチング Steel Grating



登録番号

SuMPO-EPD-2605-136-1

検証合格日

2026/5/7

公開日

2026/6/8

検証有効期間

2031/5/6

EPDタイプ

グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930 : 2017

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

Environmental Product Declaration for **Steel Grating**● **基本情報**> **プログラム情報**

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	<a href="https://ecoleaf-label.jp">https://ecoleaf-label.jp</a>

> **GPI・PCR情報**

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品 Core-PCR v.2.0.2
PCR登録番号	PA-SuMPO-PCR-01000-2-0-2
PCR認定日	2025/3/ 31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治
PCR有効期限	2030/3/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> **検証情報**

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	山根 岳人（一般財団法人カケンテストセンター）		

> **準拠規格**

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮し上記実施されなければならぬため、建設製品における建材のフットプリント全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

● **EPD取得事業者情報**

事業者名・部署名	株式会社ダイクレ技術本部
住所	広島県呉市築地町1-24
問い合わせ先	技術本部開発部 鈴木啓之
LCA算定実施者（所属）	株式会社ダイクレ
事業者概要	創立1951年(昭和23年)で、国内で初めてグレーチングの製造販売を開始したメーカー 現在では、鋼製高欄やガードレール、受圧板なども手掛ける土木建築資材の総合メーカー 金属、複合材料を取り扱え、全国に9箇所の工場と倉庫、12箇所に営業拠点を持つ全国規模の企業

## ●製品情報

製品名称	スチールグレーチング		
製品の型式	D1GO,D1GD,D5PO,D5PU,D5MO,D5MD,D5MU,D1SO,D1FO,D1SD,D1FD,D1SU,D1FU,D1EO,D1ED,D1EU,R1GO,R1GD,R5PO,R5PU,R5MO,R5MD,R5MU,R1SO,R1FO,R1SD,R1FD,R1SU,R1FU,R1EO,R1ED,R1EU,X5XO,X5XD,X5XU,HO,HD,HU		
製品仕様	製品機能	道路や敷地内の側溝や柵の排水用の蓋であり、車両や人の移動における安全性も確保する	
	製品質量	1t	換算係数 -
	製品の用途	道路や敷地内の側溝や柵の蓋	
	技術性能	-	
耐用年数	年数	20年	
	使用条件	海岸地帯	
	年数を設定した根拠	溶融亜鉛めっき「JIS H 8641」で規格されている「HDZT63」において、2007年版の該当JIS解説に記載の平均腐食速度を用い、めっき被膜の90%が消耗するまでの期間を算出した。なお、耐用年数は設置場所の環境等により変化します。	
製造サイト（製造拠点）	広島工場、千葉工場		
製品概要	道路や歩道の溝に設置される格子状の金属製の蓋で、人や物の落下を防ぎつつ排水を促す役割を持つ構造物です。		
製品ウェブサイト	<a href="https://www.daikure.co.jp/grating/">https://www.daikure.co.jp/grating/</a>		

## ●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
平鋼	21.4	232.26	kg
I形鋼	49.1	533.99	kg
山形鋼	22.4	243.40	kg
丸鋼	4.7	50.71	kg
亜鉛	2.4	26.40	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	

## ●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO <sub>2</sub> eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	0.00	0.00
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	0.00	0.00

## ● LCA 関連情報

### > EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input type="checkbox"/> 特定サイト	<input checked="" type="checkbox"/> 複数サイト	
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		本算定および結果は、スチールグレーチング計38種を含めた加重平均データであり、製造サイト2工場分の加重平均データである。加工については、⑥切断、⑦組立は一部外注しているが実施する全拠点の対象製品生産量に対し7割以上の一次データは把握できている。⑧表面処理については全量外注しており二次データを使用している。（※フロー図参照）		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		製品のサイズ、製造拠点に違いはあるが材料構成比や製造プロセスは基本的に同一であることから、品番ごとの算定結果の差異は対象の開示項目において上下10%以内に収まる。		
複数製品EPDの説明		本EPDでは2工場38品番の製品を生産しており、生産量に基づく加重平均値を用いて算定した。		

### > LCA関連情報

宣言単位	1t		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	-		
基準フロー (機能単位を満たすために必要な製品数)	-		
システム境界	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	Cloud版 MiLCA v1.2.1.13		
LCIデータベース	AIST-IDEA ver3.5.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIにて規定されている二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価は ISO 14044：2006 (環境マネジメント-ライフサイクルアセスメント-要求事項及び指針) の 4.2.3.6 に従って行った。		
一次データ収集拠点	広島工場、千葉工場		
一次データ収集期間	2024/4/1~2025/3/31		
生物由来炭素の取り扱い	<input type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input checked="" type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

### > 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階								解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連							
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D	
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

■：算定対象 -：算定対象外

**> アロケーション**

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。物理量によるアロケーションにより工場における全製品の生産量のなかで対象製品固有のエネルギー量を算出した。

**> カットオフ**

カットオフは行っていない。

**> システム境界**

PCR【建材及び建設製品 Core-PCR v.2.0.2】に基づき設定を行った。GPIおよびPCRにて定められた、原材料調達・輸送・製造に係るプロセスをシステム境界内として算定を行った。時間的システム境界は100年である。

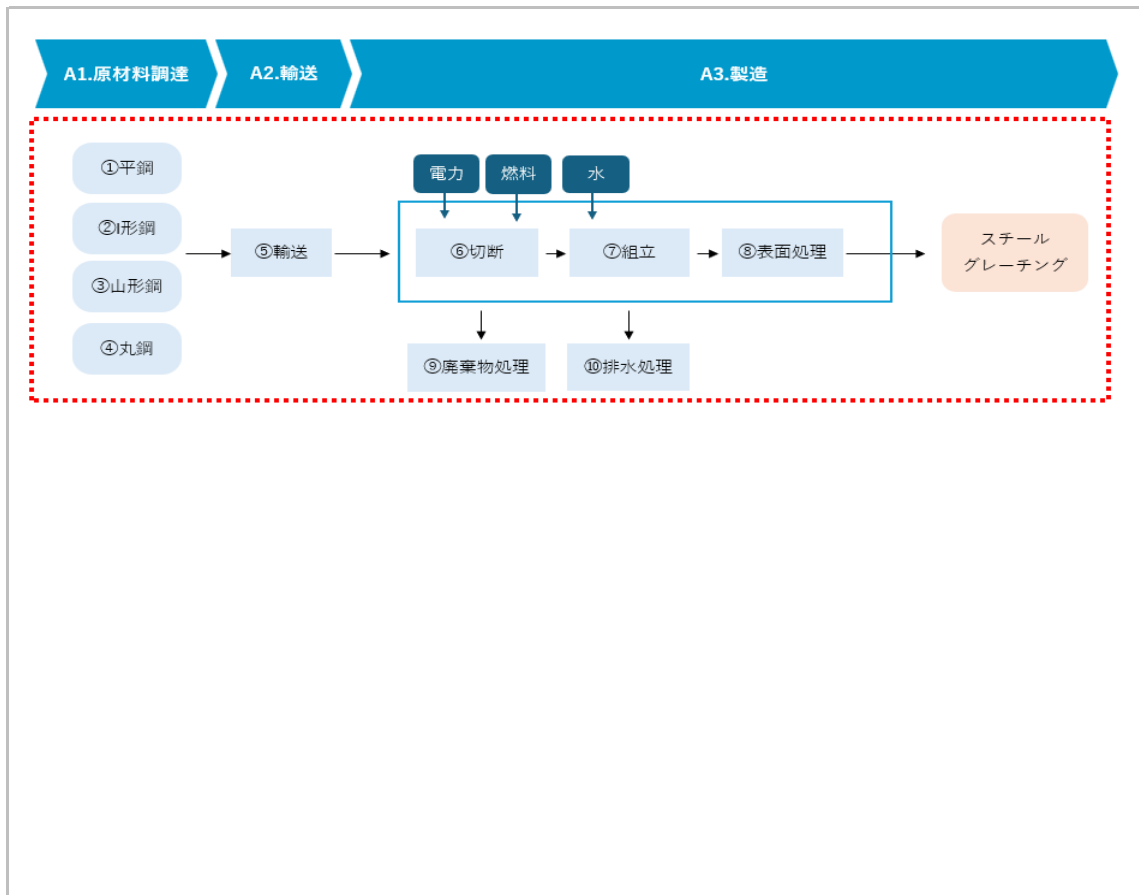
**> シナリオ**

モジュール	説明
A2	輸送時の輸送手段、積載率についてPCRシナリオを採用した
A3	サイト間輸送時の輸送手段、積載率についてPCRシナリオを採用した

**> 電力モデリング**

対象とするライフサイクル段階において、2022年度の日本全国系統電力の平均値を用いている

## &gt; ライフサイクルフロー図







Environmental Product Declaration for **Steel Grating**

## &gt; LCA算定結果に関する説明

本算定においては原料の1次データを収集することは困難であり2次データ（AIST-IDEA）を使用していることや、輸送に関して一部シナリオを用いていることから算定結果は不確実性を含んでいる。

特に【A3：製造】における⑧表面処理は一次データでの算定が困難であり二次データで算定をしているが、本算定のライフサイクルにおける影響評価において影響度合いが高く、本製品に関する算定結果に不確実性をもたしている。

## ●追加環境情報

## &gt; LCAに関連しない追加環境情報

—

## &gt; 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—

## 建材および建設製品からの危険物質の放出

—

## ●用語の定義

—

## ●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services

## ●改訂履歴

—